

平成 29 年度 第 6 回コンクリート常任委員会議事録（案）

日 時：2018 年 2 月 16 日（金）14 時～17 時

場 所：土木学会講堂

出席者：前川委員長，小林幹事長，石田，井上，岩城，上田，氏家，鎌田，河合，岸，坂井，下村，武若，田所(谷村代理)，田中，土谷，津吉，中村，二羽，濱田，久田，平田，松田，松村，睦好，山路，横田，渡辺の各常任委員、綾野，加藤，名倉の各常任委員兼幹事，伊代田，酒井，羽瀨，松原の各オブザーバ，小川(事務局)

配付資料：

- 6-0 : 平成 29 年度第 6 回コンクリート常任委員会議事次第
- 6-1 : 平成 29 年度第 5 回コンクリート常任委員会議事録（案）
- 6-2 : 平成 30 年度コンクリート委員会常任委員会開催予定
- 6-3 : 土木材料実験指導書編集委員会委員構成（案）
- 6-4-1～6-4-4: 短期の水掛かりを受けるコンクリート中の水分浸透速度係数試験方法（案）（JSCE-G 582-2018）
- 6-5-1～6-5-4 : プレストレストコンクリートのプレキャストセグメント用プラスチック製カップラーシースの漏れ試験方法（案）（JSCE-E 711-2018）
- 6-6 : 高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの施工指針
- 6-7 : セメント系材料を用いたコンクリート構造物の補修・補強指針
- 6-8 : 混和材を大量に使用したコンクリート構造物の設計・施工指針（案）
- 6-9 : 第 2 種委員会「鉄筋定着・継手指針改訂小委員会」設置提案書
- 6-10 : 第 2 種委員会「プレキャストコンクリート工法の設計施工維持管理に関する研究小委員会」設置提案書
- 6-11 : 第 2 種委員会「電気化学的防食工法設計施工指針改訂小委員会」設置提案書
- 6-12 : 第 3 種委員会「部材詳細の設計と照査に関する研究小委員会」設置提案書
- 6-13 : 第 3 種委員会「締固めを必要とする高流動コンクリートの配合設計・施工技術研究小委員会」設置提案書
- 6-14 : 平成 30 年度全国大会開催に伴う研究討論会企画募集
- 6-15 : 平成 29 年度コンクリート委員会予算執行状況
- 6-16 : コンクリート構造物の品質確保小委員会（350 小委員会）第 2 期名簿
- 6-17 : コンクリート構造物の養生効果の定量評価と各種養生技術に関する研究小委員会（356 小委員会）名簿
- 6-18 : コンクリート構造物の設計と練成型性能評価法に関する研究小委員会（351 小委員会）名簿
- 6-19 : 平成 30 年度「重点研究課題」
- 6-20 : 示方書講習会開催状況
- 6-21 : ジョイントセミナー開催に対する助成金の申請
- 6-22 : 第 18 回 コンクリート構造物の補修，補強，アップグレードシンポジウム開催案内
- 6-23 : 日本建築学会建築保全標準（案）

1. 委員長挨拶

示方書の設計編，施工編については出版の目処が立ったが，引き続き半年後に発行が予定される維持管理編の改訂および今後新たに改訂・制定が予定されている指針類の審議への協力要請があった。

2. 平成 29 年度第 5 回常任委員会議事録の承認【別紙資料】【資料 6-1】

名倉幹事より，前回議事録（案）が読み上げられ，異議なく了承された。

3. 平成 30 年度コンクリート委員会常任委員会の開催予定【資料 6-2】

小林幹事長より、平成30年度コンクリート委員会常任委員会の開催予定が示され、了承された。

審議事項：

1. 第2種委員会「土木材料実験指導書編集委員会」委員構成（案）【資料6-3】

委員長に上野氏（首都大学東京）、幹事長に吉田氏（名古屋工業大学）、担当幹事に加藤幹事（東京理科大）、委員に各工業高等学校の教員よりなる委員構成が承認された。土木材料実験指導書は、土木学会でコンクリート標準示方書に次いで発行数の多い重要な書籍であると、前川委員長より補足があった。

2. 土木学会新規準の審議（意見照会への対応）

(1) コンクリート中の水分浸透速度係数試験方法（案）【資料6-4-1～6-4-4】

酒井オブザーバより、56の修正意見に対する修正報告がされた。コンクリートの水分浸透速度係数を測定するものであるから、タイトルに「短期の水掛かりを受ける」の修飾語は必要ないのではないかとの意見があったが、原案通りとし、修正案の通りに制定を行うことが承認された。

(2) プレストレストコンクリートプレキャストセグメント用プラスチック製カップラーシースの漏れ試験方法（案）【資料6-5-1～6-5-4】

松原オブザーバより、12の修正意見に対する修正報告がされ、修正案の通りに制定を行うことが承認された。

3. 土木学会指針の審議（初回審議）

(1) 高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの設計・施工指針【資料6-6】

伊代田オブザーバ（指針改訂小委員会幹事長）より、改訂版の指針では、2017年制定の示方書の内容を前提とする記述に変更すること、中性化と水の浸透による鋼材腐食深さを追加すること、プレキャストの章を新設することの説明があり、意見照会を行うことが了承された。なお、出版の最終審議は、次回常任委員会で行う。

4. 土木学会指針の審議（再審議）

(1) セメント系材料を用いたコンクリート構造物の補修・補強指針【資料6-7】

上田委員（研究小委員会委員長）より、意見照会で寄せられた58の意見に対する回答が報告され、出版が承認された。講習会は、6月27日に土木学会で開催した後、大阪、福岡、札幌等での開催が予定されている。今後、fib Model Code 2020の中での増厚工法に内容を反映し、ISO/TC71/SC7「コンクリート構造物の維持補修」の中で増厚工法のISOの標準化を行う。

(2) 混和材を大量に使用したコンクリート構造物の設計・施工指針（案）【資料6-8】

石田委員（研究小委員会委員長）より、意見照会で寄せられた25の意見に対する回答が報告され、出版が承認された。

5. 第2種委員会の設置の提案

(1) 鉄筋定着・継手指針改訂小委員会【資料6-9】

久田委員（東北大学）を委員長、玉井氏（鉄道建設・運輸施設整備支援機構）を幹事長とする「鉄筋定着・継手指針改訂小委員会」が260小委員会として設置が認められた。本委員会では、2007年に制定された鉄筋定着・継手指針の改訂を行う。

(2) プレキャストコンクリート工法の設計施工維持管理に関する研究小委員会【資料6-10】

渡辺委員（土木研究所）を委員長、陸好委員（埼玉大学）を副委員長、綾野幹事（岡山大学）を幹事長とする「プレキャストコンクリート工法の設計施工維持管理に関する研究小委員会」が259小委員会として設置が認められた。本委員会では、プレキャストの利活用が促進される設計、施工、維持管理の体系の検討を行う。

(3) 電気化学的防食工法設計施工指針改訂小委員会【資料 6-11】

武若委員（鹿児島大学）を委員長，濱田委員（九州大学）を副委員長，山口氏（鹿児島大学）を幹事長とする「電気化学的防食工法設計施工指針改訂小委員会」が 258 小委員会として設置が認められた。本委員会では，2001 年に制定された電気化学的防食工法設計施工指針（案）の改訂を行う。

6. 第 3 種委員会の設置の提案

(1) 部材詳細の設計と照査に関する研究小委員会【別紙資料】【資料 6-12】

中村委員（名古屋大学）を委員長，牧氏（埼玉大学）を副委員長，渡辺健氏（JR 総研）を幹事長とする「部材詳細の設計と照査に関する研究小委員会」が 357 小委員会として設置が認められた。本委員会では，合理的な配筋詳細や構造細目の照査，高強度鉄筋の曲げ加工や高機能材料の利活用，および，部材接合部の性能照査方法等に関して検討を行う。

(2) 締固めを必要とする高流動コンクリートの配合設計・施工技術研究小委員会【資料 6-13】

加藤幹事（東京理科大学）を委員長，橋本紳一郎氏（福岡大学）を幹事長とする「締固めを必要とする高流動コンクリートの配合設計・施工技術研究小委員会」が 358 小委員会として設置が認められた。本委員会では，示方書で対象外となっている軽微な締固めを必要とする高流動コンクリートに関して，振動・締固めエネルギーが充填性に与える影響，配合設計手法，フレッシュ時の特性の評価指標等について検討を行う。

7. 平成 30 年度全国大会開催に伴う研究討論会企画募集について【資料 6-14】

小林幹事長より，会場の関係で，全国大会で開催される研究討論会は，平成 30 年と平成 31 年のいずれかで行うことになることが説明された。討論のテーマについては，委員からの提案がなければ幹事会で決めることが了承された。

報告事項：

1. 平成 29 年度コンクリート委員会予算執行状況【資料 6-15】

小林幹事長より，示方書関係の支出が予算より 300 万円ほど超過しているが，平成 29 年度のコンクリート委員会の予算の執行状況は前年度並みであることの報告があった。

2. 第 3 種委員会の委員構成

(1) コンクリート構造物の品質確保小委員会（第 2 期）【資料 6-16】

名倉幹事より，350 小委員会「コンクリート構造物の品質確保小委員会」の第 2 期委員構成が紹介された。

(2) コンクリート構造物の養生効果の定量評価と各種養生技術に関する研究小委員会（356）委員追加【資料 6-17】

名倉幹事より，川口委員（奥村組），田村委員（駒井ハルテック），横山委員（東京大学）の追加が報告された。

(3) コンクリート構造物の設計と連成型性能評価法に関する研究小委員会（351）委員追加【資料 6-18】

名倉幹事より，栗栖委員（鉄建建設）の追加が報告された。

3. 示方書改訂小委員会からの報告【資料 6-19】

下村小委員会幹事長より，設計編，施工編は，印刷の工程に入っていること，改訂資料も含めて，東京で 3 月 22 日に開催される講習会に十分に間に合う状況であること，意見照会を頂いた機関へは，対応の回答の送付を準備していることの報告があった。

4. 平成 30 年度「重点研究課題」への応募について【資料 6-20】

小林幹事長より，350 委員会を母体として，建設マネジメント委員会，建設用ロボット委員会，教育企画・人材育成委員会と連携し，「生産性向上を考慮した新設コンクリート構造物の品質・耐久性確保に関する研究」で申請したと報告があった。

5. ジョイントセミナー開催に対する助成金の申請について【資料 6-21】

濱田委員（国際関連小委員会委員長）より、石田委員が中心に準備を進めている、来年日本で開催される CECAR8 への参加者を募ることも含めて、インドネシアのスマランでジョイントセミナーを開催する助成申請を学術交流基金管理委員会に提出したことが報告された。

6. その他

(1) 第 18 回 コンクリート構造物の補修、補強、アップグレードシンポジウムについて【資料 6-22】

小林幹事長より、第 18 回コンクリート構造物の補修、補強、アップグレードシンポジウムが、10 月 25 日および 26 日に金沢で開催されること等の案内があった。

(2) 「日本建築学会 建築保全標準 本文（案）」パブリックコメントに対する御礼と回答【資料 6-23】

小林幹事長より、建築保全標準のパブリックコメントに対するお礼と回答が建築学会より届いたとの報告があった。

(3) ACF2018 の開催案内

小林幹事長より、アブストラクト提出の締切りが 3 月末に延期されたことのご案内と、学会参加へ依頼があった。

(4) 第 1 回コンクリート常任委員会開催日：

日 時：2018 年 4 月 24 日（火）14 時～17 時

場 所：土木学会講堂

（議題は 4 月 16 日（月）までに幹事まで）